

第1章 景観の特性

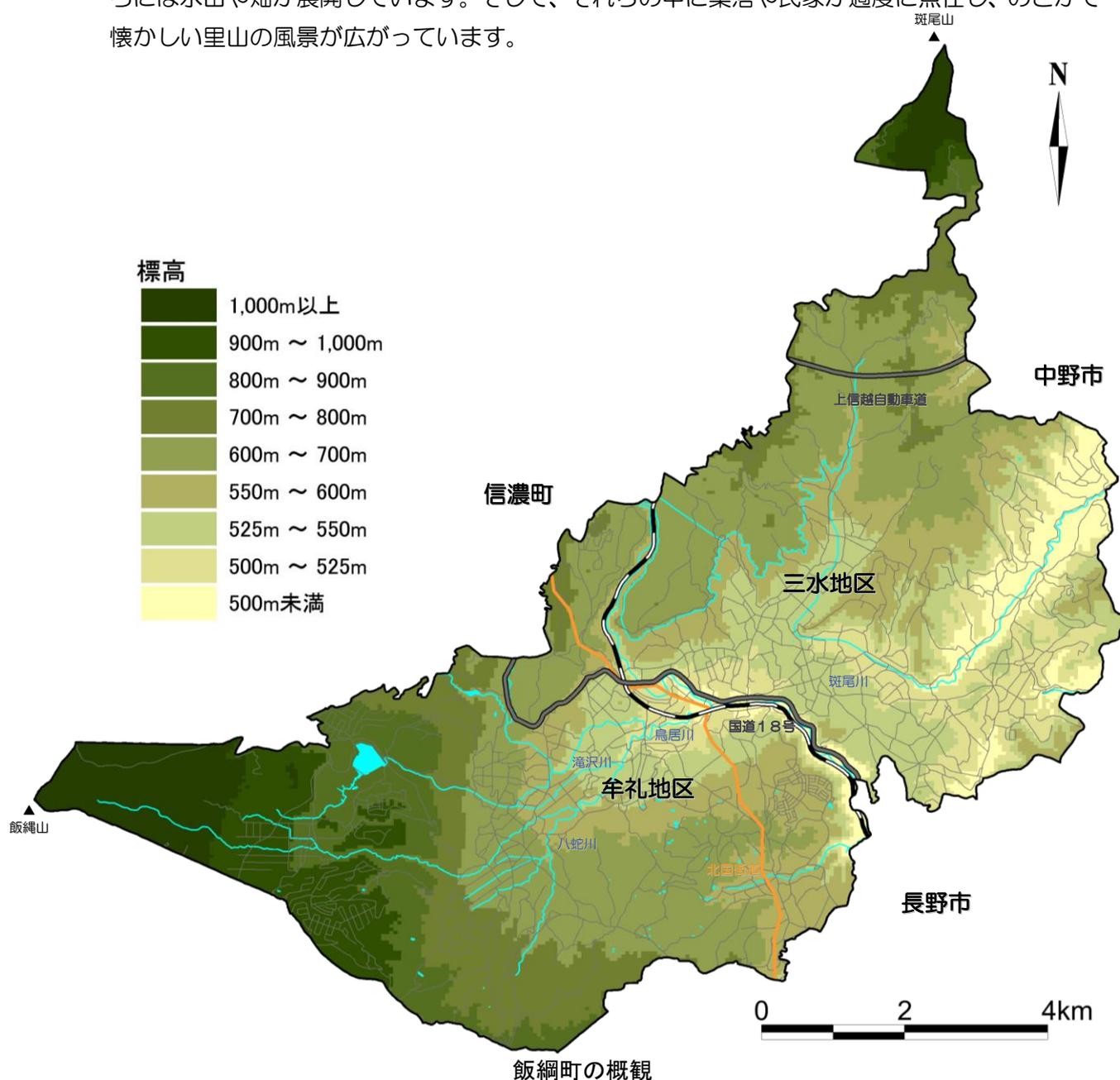
1.1 飯綱町の成り立ち

(1) 地勢と歴史

① 町の地勢と土地利用

飯綱町は西の飯縄山と北東の斑尾山の2つの成層火山にまたがる丘陵の町です。長野盆地（善光寺平）の低平地よりも1段高く、また長野県と新潟県の県境（信越国境）よりも1段低い場所に位置します。町中央を北から南に鳥居川が流れ、川の東側が三水地区（旧三水村）、川の西側が牟礼地区（旧牟礼村）になります。

飯縄山の東斜面は、妙高戸隠連山国立公園の一部を構成し、標高1,000m前後にある火山山麓にはさわやかな高原地が開けています。居住の中心地は高原から続く標高約400～700m間にあり、緩やかな起伏の丘陵が発達し、その中を鳥居川とその支流の八蛇川、滝沢川、そして斑尾川など中小の河川が流れます。高い標高のところは主に森林に覆われ、比較的低い標高のところには水田や畑が展開しています。そして、それらの中に集落や民家が適度に点在し、のどかで懐かしい里山の風景が広がっています。



② 町の歴史

飯綱町には今から 1 万数千年以上前の後期旧石器時代、ならびに数千年前の縄文時代の昔から、人々の営みがありました。古代の平安時代末期には、近衛家の太田荘や芋川荘という荘園ができ、中世の戦国時代になると、地理的に越後の上杉氏と甲斐の武田氏との間に挟まれたこの地域一帯は北信濃の支配をめぐる戦乱の場となりました。当時見通しのよかった丘陵上にはいくつもの山城が築かれ、今でもその痕跡を見ることができます。

慶長 8 年（1603）以降の江戸時代になると、三水地区の大部分は飯山藩に、牟礼地区の多くは長沼藩を経て幕府の直轄地となりました。鳥居川沿いの街道（後の北国街道）には新しく宿場（牟礼宿）が置かれ、佐渡から江戸への金銀輸送や加賀藩の参勤交代の中継点となりました。善光寺参りなどでも多くの人々の往来があり、街道を中心に人や物資が行き交って、他地域との文化交流が進みました。また、鳥居川や八蛇川、滝沢川から何本もの用水が引かれたことにより、新田の開発が進み、農村として発展する基盤ができました。

明治時代になると、鉄道（信越線）が開通して、さらに多くの人や物資の高速輸送が可能になるとともに、牟礼駅の前に商店街が形成されました。昭和に入ると、国道の建設が始まり、何度も改修を繰り返して、昭和 42 年（1967）に現在の国道 18 号が完成し、その沿道にも商店街が形づくられ発展してきました。

そして平成 17 年（2005）に旧三水村と旧牟礼村が合併し、新たに飯綱町が誕生しました。

（2）町の主要な産業

飯綱町の主要な産業は農業と観光業です。明治から昭和初期にかけては林業や養蚕業も盛んでしたが、戦後の昭和 20 年（1945）以降になると、農業の柱は水稻（コメ）と果樹栽培（果物）に集約されてきました。適度な緯度と標高、そして年間及び昼夜の大きな気温差などが果樹の栽培に適していることから、現在は特に高品質のりんご栽培が盛んになっています。

飯綱町は善光寺や志賀高原などの有名な観光地に近く、スキー場や温泉施設の利用、あるいは高原散策や農業体験など、四季を通じて多くの観光客が訪れています。

1.2 飯綱町の景観の魅力 ～大切にしたい景観～

① 変化に富んだ地形によって生み出される景観

～自然環境や空間的特性等によるもの～

(例)

- 北信五岳などの山並み、飯縄山の雪形、鳥居川や斑尾川などの川の流れ、棚田、谷津田
- 優れた眺望点（山頂、峠、丘など）や、標高差や遠近感が生み出す視点場と視対象の多様な関係性が生み出す景観（俯瞰景、仰瞰景、奥行き感、広がり感）



② 生産や生活の営みによって生み出される景観

～人の関わりや時間の移ろい等によるもの～

(例)

- 四季折々に変化する農地、農作業の様子、農業用水路（芋川用水など）、ため池（霊仙寺湖など）
- 茅葺き屋根（トタン補強）の民家、手入れの行き届いた民家の庭木や生垣、子どもらが遊ぶ様子



③ 歴史の痕跡や伝統文化の継承によって生み出される景観

～時間の積層等によるもの～

(例)

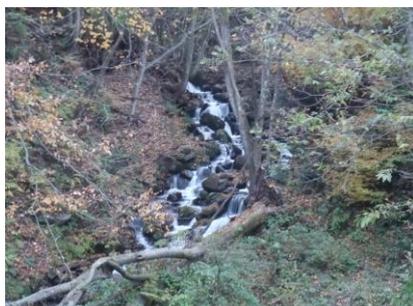
- 寺社仏閣の建造物、鎮守の森、城跡（矢筒城跡、若宮城跡など）、古墳、古道、北国街道など道沿いの道標や塚、宿場（牟礼宿）の雰囲気、町内各所の巨樹・巨木、名木、桜の名所
- 伝統的な祭り（御柱や例大祭、獅子舞、天狗の舞など）や年中行事、風習



④ 音で感じる景観

(例)

- 寺の鐘や祭りばやし、川のせせらぎ、葉擦れ、虫の音、鳥のさえずり、カエルの鳴き声



⑤ 食べられるものが見られる景観

(例)

- 水田（米）、りんご畑、もも畑（丹霞郷）、レタス畑、とうもろこし畑



⑥ 多様な生き物がみられる景観 ～野生の生物によるもの～

(例)

- 貴重な植物の群生地（ミズバショウ、カタクリ、ニリンソウ、ユキツバキなど）、雑木林、湿原（逆谷地）
- サシバ（ワシやタカの仲間）、イナゴ、ホタル



⑦ 体験を通して味わえる景観

(例)

- 農作業（田植え、りんご狩り）、山菜採り、散策、登山、キャンプ、ワカサギ釣り、ウィンタースポーツ、温泉、郷土料理づくり、食体験



⑧ 新たに人為によって生み出され・維持している景観

(例)

- ランドマークとなるような建造物、牟礼駅前の花壇整備、霊仙寺湖周辺のアじさいの植栽（視対象）
- 北信五岳道路や県道長野荒瀬原線や長野信濃線などの眺望ライン、町内各所の官民施設の眺望点（視点場）



1.3 飯網町の景観づくりの課題 ～配慮や工夫を考える必要のあるもの～

① 建築物や工作物の立地場所や土地利用そのものの配慮

⇔ 所有者・管理者の私権制限、景観とは異なる観点から必要性が求められる場合の対応
(例) 太陽光発電施設 (自然エネルギーの普及)

② 建築物や工作物の規模や高さなど形態的な配慮

⇔ それらが安全確保や社会経済活動を支える施設として必要性がある場合の対応
(例) 信号や電線、電柱、標識・サイン、工場の煙突、沿道の屋外広告物やのぼり旗など

③ 建築物や工作物その他施設の劣化や破損、施設・土地利用の維持管理不足等による景観への影響

- 適切な維持管理がなされていない工作物の劣化がもたらす景観への影響+本来機能の低下
(例) 塗装が剥げ、腐食した標識やサイン
- 土地や建物等の管理不足等による景観への影響
(例) 荒廃森林、耕作放棄地、空き家、空き店舗、空き地 (資材置場や駐車場)、廃墟
- 道路や河川施設の管理不足等による景観への影響
(例) 道路の路面損傷の長期未対応、沿道の雑草や倒木の管理不足、河川の過剰な植物の繁茂・樹林化

④ マナーやモラルを守れない一部の人によってもたらされる景観の悪化

(例) 不法投棄物、落書き

⑤ 周囲の景観との調和を十分考慮せずによかれと思って、あるいは別の効果を期待して行われた行為への対応

(例) 擁壁など工作物等へのペインティング

⑥ 時代にそぐわなくなり、周囲の景観にも調和しているとは言えない工作物等 (エイジング効果の出ない素材利用等) への対応

(例) 観光案内板や歓迎看板

⑦ 駅前や商店街の賑わいのなさ